

結 果 報 告

大会名	平成26年度第66回全日本総合ハンドボール選手権大会				
競技日	12月26日 (金)	試合番号	3-5	回戦	2回戦
種別	男子 女子	会場	枇杷島SC ・愛知県体育館		
Aチーム			Bチーム		
オムロン			香川銀行T・H		
得点合計	小計		小計	得点合計	
30	18	前半	2	6	
	12	後半	4		
		第1延長 (前半)			
		第1延長 (後半)			
		第2延長 (前半)			
		第2延長 (後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名

大橋 陽

女子2回戦は香川銀行のスローオフで前半がスタート。立ち上がりからオムロンがフットワークを生かした激しいディフェンスから速攻につなげ、好スタートを切った。4分、オムロンに退場者が出たところで流れが変わりかけるも、香川銀行はチャンスを得点につなげられない。落ち着きを取り戻したオムロンは13番勝連の速攻を軸に怒涛の攻撃を見せ、16分で11-0と大きくリードした。香川銀行は二度目のタイムアウト後の17分、2番重信のロングが決まりようやく初得点。その後は一進一退の攻防が続くも、オムロンは20分過ぎから7番藤井を中心とした多彩なオフェンスで再び7連取。18-2とオムロン大量リードで前半が終了した。

後半はオムロン・5番稲葉の華麗なバックシュートで幕を開けた。香川銀行はディフェンスラインを下げて後半をスタートするが、オムロンは落ち着いて対応し、25-2とさらに差を広げた。9分、香川銀行は最後のタイムアウトを取り、再び高いディフェンスに戻す。すると中盤以降は速攻を軸に互角の展開となる。香川銀行のスピードのあるオフェンスをオムロンが体を張って守る場面が続いた。終盤、GK1番愛久澤の好セーブなどで香川銀行が盛り返す場面も見られたが、差は埋まらず、30-6の大差でオムロンが準決勝に進んだ。60分間集中したオムロンの素晴らしいディフェンスが光るゲームであった。